

人の暮らしを知り、
人の生き方と出会える場所



会場
紹介

国指定重要文化財
大橋家住宅

OHASHIS' HOUSE

大橋家住宅は、江戸中期の倉敷町屋の典型を示す代表的な建物で、国の重要文化財に指定されています。長屋門や、なまこ壁・倉敷窓・倉敷格子など倉敷の豪商らしい風情が残っており座敷に上がってゆっくりと往時を偲んでいただけます。

会場
紹介

阿知町界限

ACHIMACHI AREA

昭和の時代の阿知3丁目は商人のまちで、呉服屋が通りに軒を連ねて並んでいました。重要文化財である大橋家住宅前が旧阿知町の通りとして非常に賑わっていました。

今年で16回目を迎える「高梁川マルシェ」は、江戸中期(1790年代)に建てられた町家「大橋家住宅」を主会場に阿知町通り(旧街道沿い)の商店をつなぎ、高梁川を中心とした備中地域で暮らす人、こだわりの食、工芸、作品それらが一堂に集い、同じ時間と空間を共有する文化交流イベントです。

食やモノづくりへのこだわりを持った人がこの大橋家住宅で会うことで、暮らしの新たな発見が得られる場となれるよう一同準備を致しておりますので、是非足をお運び頂ければ幸いです。

アーティスト共同制作作品展示

「水流の可視化」

アーティスト

UOU(ワオ) 鈴木和旺

倉敷芸術科学大学
芸術学部 ガラス専攻 白神朝恵

大橋家住宅にて古くから日本人の生活と密接に結びつき、日本文化にとっても不可欠な要素でもある最も身近な植物のひとつ『竹』を用いて、「しなやかさと躍動感」を演出し、ガラスの特性を活かした「光との調和」が混ざりあう試みを予定しています。



阿知町界限
屏風祭

展示場所

- 地酒屋
- 桐朋マンション
- 毛糸のミヤケ
- 内田邸
- 四十瀬屋



各家庭で保存されていた屏風を展示しています。昔は、祭りの時各家で展示しており、屏風祭りと言われるほど賑わっていました。